

■長崎市立小・中学校施設の耐震改修状況

(令和3年4月現在)

単位:棟数

学校種別	全校数	建物区分	全棟数			耐震診断		耐震補強等を行った建物累計 (補強不要判明分を含む)	耐震化率	今後耐震補強予定の建物
			が非木造の2階以上又は延床面積が200㎡超	昭和57年以降の建物 (耐震性あり)	昭和56年以前の建物 (耐震化の対象)	耐震化の対象建物の実施状況				
			①	②	③ (③/①)	④ (④/③)	⑤	(②+⑤)/①	①-②-⑤	
小学校	68	校舎	337	102	235 (69.7%)	235 (100.0%)	230	98.5%	5	
		体育館	65	22	43 (66.2%)	43 (100.0%)	43	100.0%	0	
中学校	38	校舎	204	78	126 (61.8%)	126 (100.0%)	126	100.0%	0	
		体育館	42	20	22 (52.4%)	22 (100.0%)	22	100.0%	0	
		武道場	21	19	2 (9.5%)	2 (100.0%)	2	100.0%	0	
合計	106	校舎	541	180	361 (66.7%)	361 (100.0%)	356	99.1%	5	
		体育館	107	42	65 (60.7%)	65 (100.0%)	65	100.0%	0	
		武道場	21	19	2 (9.5%)	2 (100.0%)	2	100.0%	0	
総合計			669	241	428 (64.0%)	428 (100.0%)	423	99.3%	5	

- ◎ 学校施設の耐震化率は、99.4%まで進捗しています。
 特に、阪神淡路大震災クラスの「震度6強以上で倒壊等の危険性が高い(Is値0.3未満)」と診断された建物の耐震補強工事は、平成22年度中に完了しました。
 その後も耐震工事を推進し、残りは1校5棟ですが、これらについては改築により対応していく予定です。

- ※1 棟数について
 学校施設は、一つの建物に見えても、構造上分かれていたり、増築して建設時期が違う場合などは別の棟として計上いたします。なお、詳細は「耐震診断(2次診断)結果(集計)」などを参照してください。
- ※2 耐震診断について
 棟数については、2次診断を終えた建物、平成18年度に実施した耐震化優先度調査のみを終えている建物(廃止等のため2次診断は未実施の建物)の全てを含んでいます。

■耐震診断(2次診断)結果

耐震診断の結果については、「耐震診断(2次診断)結果(集計)」などのとおりです。

※耐震診断(2次診断)結果(集計)などには、耐震化の対象となる建物を掲載しており、次の建物は掲載しておりません。

- 耐震化の対象とならない建物
 木造の校舎等、非木造の校舎等で平家建かつ延床面積が200㎡未満の建物
- 昭和57年以降に建設された建物

■耐震診断（2次診断）結果の見方

◆建物区分

校：校舎
 屋：体育館（屋内運動場）
 武：武道場

◆避難所指定

○：体育館等が避難所に指定されている学校
 △：グラウンドが避難場所に指定されている学校
 「平成20年修正 長崎市地域防災計画（資料編）による」

◆構造区分

R：鉄筋コンクリート造(RC造)・・・主に「校舎」が該当
 S：鉄骨造(S造)・・・主に「体育館」が該当

◆緊急度ランク

耐震診断（2次診断）結果をもとに、耐震化の緊急度をランク付したものを。

◆Is値(構造耐震指標)

2次診断により、建物の耐震性能を評価し、地震に対する強度と変形（粘り強さ）を数値化したもので、数値が大きいほど、耐震性能が高くなる。

※補強後のIs値の目標値

学校施設については、「0.7」を超えること。

「公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目」の規定による。

◆CTU×Sd値(保有水平耐力に係る指標)

鉄筋コンクリート造(RC造)が主な構造の建物がもっている、水平方向の外力に対する耐震性能の指標。

※補強後のCTU×Sd値の目標値

「0.3」を超えること。

「(財)日本建築防災協会 既存RC造の耐震診断基準」による。

◆q値(保有水平耐力に係る指標)

鉄骨造(S造)が主な構造の建物がもっている、水平方向の外力に対する耐震性能の指標。

※補強後のq値の目標値

学校施設については、「1.0」を超えること。

「公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目」の規定による。

各指標の目安

震度6強以上の大規模地震での倒壊等の危険性		高い	ある	低い
指標	Is値	0.3未満	0.3以上0.6未満	0.6以上
	q値	0.5未満	0.5以上1.0未満	1.0以上
	CTU×Sd値	0.3未満		0.3以上

◆コンクリート強度(N/mm²)

鉄筋コンクリート造(RC造)の建物の構造部材であるコンクリートが外力に対してどのような力(1cm²当たり何kgの圧縮荷重に耐えられるか)を持つかを示す指標。

※目安として、圧縮強度試験値が13.5N/mm²(1cm²当たり135kgの圧縮荷重に耐えられる力)以下の場合、校舎内部の壁の補強等が多く必要になる場合がある。